

SME 日本支部の月例会について



藤嶋 誠

SME 日本支部
プログラム企画副委員長
(前委員長)

SME 日本支部では会員への技術提供サービスの一環として月例会を開催しております。

これは最新の研究所や先端的な工場を見学することにより、産業界ならびに学会会員の技術知識を深めること目的としています。具体的には各地で技術講演会または工場見学を実施しており、また会員の親交を深めるための交流の場としても活用いただいております。1年間のプログラムは毎年3月に松原厚委員長以下、プログラム委員会にて計画立案しております。毎年、委員の見聞を集約して最先端の技術を見学していただけるように大学などの研究所や工場を選んでおり、一般には公開されないような技術を見ていただける機会も多くあります。

SME 日本支部では、創立の年の1962年7月から学士会館を使用して、講演会・討論会を実施していました。当初は7月：ピポットバニシング加工法について、9月：電鑄加工法について、10月：Holding Tools、11月：米国における Tool Engineer の訓練方法を実施したと記録に残っています。

その後1963年から毎月技術講演会を毎月実施しており、1964年から年に数回のプラントツアーを実施し、1990年代からプラントツアー、講演会から、工場、研究所、大学研究室の見学と技術の講演を合わせて開催し、現在まで継続しております。なおSMEホームページには、1991年から25年間の記録を掲載しています。

直近の2013年からの5年間では50以上の研究機関と企業を見学する企画を実施し、原則として毎回20名程度（規模の大きい場合は30名程度まで）に制限して密度の深い見学が出来るように配慮しております。参加資格は会員もしくは会員の紹介を受けた一般の方、そして学生の方は特別価格で見学に参加する機会を得ることが出来ます。

毎月の月例会の案内はSME 日本支部のホームページに公開されますので積極的な参加をお待ち申し上げます。また技術提供をいただける研究所や企業は是非SME 日本支部事務局に連絡いただきますようお願いいたします。



富士重工業 (株) 宇都宮製作所
(2013. 10. 9)



京都大学 桂キャンパス
(2013. 5. 29)



日本工業大学
(2014. 10. 28)